

葱関連

あきき 【秋▼葱】

秋のネギ。二本の茎が並んで薄皮に包まれていることから、「ふたごもり」と続けて用いる。
「一のいや双納(ふたごもり)を思ふべし/日本書紀(仁賢訓)」

あさぎ 0 【浅▼葱】

〔「葱(き)」はネギの古名。薄い葱の葉の色の意。「浅黄」は当て字〕
(1) わずかに緑色を帯びた薄い青。また、青みをおびた薄い緑色。あさぎ色。
「一袴(ばかま)」「一帽子(ぼうし)」
(2) (着ている袍(ほう)の色が浅葱であるところから) 六位。
(3) 「浅葱裏」の略。

あさつき 20 【浅▼葱/〈胡葱〉】

ユリ科の多年草。高さ約30センチメートル。葉は細い筒状。ネギ類に属し、各地の山野に自生するが、野菜として栽培され、葉や鱗茎を食用とする。せんぼんわけぎ。[季] 春。

き 【▼葱】

ネギの古名。
「秋一のいやふたごもり/日本書紀(仁賢訓)」

ねぎ 1 【▼葱】

ユリ科の多年草。シベリア南西部原産といい、古く中国を経て日本に渡来。葉は中空の円筒形で緑色。基部は白く莖(さや)となって巻き合う。花茎の頂に「ねぎぼうず」といわれる白色小花を多数散状につける。主に関東では軟白化した白色部を、関西では軟白化せず緑色部を食用とする。ナガネギ。ネブカ。ヒトモジ。古名、き。[季] 冬。

かげもえぎ 3 【陰▼萌▼葱/陰▼萌黄】

染め色の名。黒みを帯びた萌葱色。木賊(とくさ)色。

もえぎ 0 【▼萌黄/▼萌▼葱】

(1) やや黄色みを帯びた緑色。
(2) 襲(かさね)の色目の名。表裏ともに(1)、または表薄青、裏萌黄。四季通用。

わけぎ 2 【分▼葱】

ユリ科の野菜。ネギの変種。中国を経て古く渡来。葉はネギより細く淡緑色で高さ約30センチメートル。鱗茎(りんけい)は白色でほとんどふくらまない。和名は、株分けで繁殖させることから。古名、冬葱(ふゆき)。[季] 春。